問題 1

（注）｛　｝内の不要な文字を二重線で消去し、（　　）内には金額を記入しなさい。

問１

新規注文を引き受けた場合、利益が（　　）円 ｛増加／減少｝ するので、受注すべきで ｛ある／ない｝。

問２

新規注文を引き受けた場合、利益が（　　）円 ｛増加／減少｝ するので、受注すべきで ｛ある／ない｝。

問３

15,000個の販売単価を引き下げた場合（　　）円/個までならば、新規注文の引受けは当社にとって有利である。

問題 2

問１

予算損益計算書　（単位：円）

売上高	（　　）
変動売上原価	（　　）
変動製造マージン	（　　）
変動販売費	（　　）
貢献利益	（　　）
固定費	（　　）
営業利益	（　　）

問２

Ｘ社からの追加注文を拒否すれば、営業利益は［　　］円となる。

Ｘ社からの追加注文を受諾すれば、営業利益は［　　］円となる。

よって追加注文を受諾したほうが、営業利益は［　　］円だけ ｛大きい／小さい｝ ので、この注文は ｛受諾／拒否｝ すべきである。

（注）｛　｝内の不要な文字を二重線で消去しなさい。

問題 3

（注）下記の［　　］内に計算結果を記入しなさい。問３、問４では内製・購入のうち、該当する文字または文章を〇で囲み、不要な文字または文章を二重線で消しなさい。また、問４の［　　］には適切な番号を記入しなさい。

問１

第２製造部の製造間接費の原価分解

(1)　製品１台あたりの変動製造間接費［　　］円

(2)　月間の固定製造間接費［　　］円

問２

第２製造部長の６カ月間の給料総額［　　］円

問３

(1)　次期６カ月間の生産量が［　　］台より多ければ、

{内製／購入} が有利である。
内製、購入どちらでもよい。

(2)　次期６カ月間の生産量が［　　］台より少なければ、

{内製／購入} が有利である。
内製、購入どちらでもよい。

(3)　次期６カ月間の生産量が［　　］台に等しければ、

{内製／購入} が有利である。
内製、購入どちらでもよい。

問４

(1)　外部倉庫の賃借料節約額は、内製というコース選択にとって［　　］であるといえる。

(2)　次期６カ月間の生産量が［　　］台より多ければ、

{内製／購入} が有利である。
内製、購入どちらでもよい。

問題 4

（注）下記の ［　　］ 内に該当する文字または数字を記入し、「高い・低い」および「有利・不利」のいずれか不要のものを二重線で消去しなさい。

問１

この問題を解決する最も適切な原価は ［　　］ である。

問２

Ａ案のほうが、Ｂ案よりも原価が ［　　］ 万円 {高い / 低い} ので、Ａ案のほうが {有利 / 不利} である。

問３

部品Ａの年間必要量が ［　　］ 個以上ならば、Ａ案のほうが {有利 / 不利} である。

問４

Ａ案のほうが、Ｃ案よりも原価が ［　　］ 万円 {高い / 低い} ので、Ａ案のほうが {有利 / 不利} である。

問題 5

問１

製　　品	A	B	C	合　計
製品単位あたり製造原価	円	円	円	——
売　上　総　利　益	万円	万円	万円	万円

（注）マイナスの場合は金額の前に△を付すこと。

問２

製　　品	A	B	C	合　計
売　上　総　利　益	万円	万円	万円	万円

（注）マイナスの場合は金額の前に△を付すこと。

問３

製　　品	A	B	C	合　計
売　上　総　利　益	万円	万円	万円	万円

（注）マイナスの場合は金額の前に△を付すこと。

問４

	工場全体の売上総利益
(1)	万円
(2)	万円
(3)	万円
(4)	万円

（注）マイナスの場合は金額の前に△を付すこと。

問題 6

製品Ｃの生産・販売を継続することで［　　］円の{差額利益／差額損失}が発生するので、製品Ｃの生産・販売を廃止すべきで{ある／ない}。

（注）不要な文字を二重線で消しなさい。

問題 7

問１

(1) 材料Mの１回あたりの発注費 ［　　］円

(2) 材料Mの１個あたりの年間保管費 ［　　］円

(3) 材料Mの経済的発注量 ［　　］個

問２

乙案のほうが甲案よりも原価が ［　　］ 円 {高／低} く、{不利／有利} である。

（注）該当する文字を○で囲みなさい。

問３

(1) 問１の経済的発注量を採用したときの
値引を受けられないことによる年間の機会損失 ［　　］円

(2) １回に800個ずつ発注する場合の年間保管費 ［　　］円

(3) １回に ［　　］ 個ずつ発注するのが最も有利である。

なぜならば、このロットの発注費、保管費および機会損失の年間合計額が ［　　］ 円となり、この年間合計額が他のロットで発注するよりも最低となるからである。

問題 8

問１

	正味現在価値	順位	判　　断
A	万円		採用すべきで（ ある ・ ない ）
B	万円		採用すべきで（ ある ・ ない ）
C	万円		採用すべきで（ ある ・ ない ）

（注）（　　）内は適切な文字を○で囲むこと（以下同様）。

問２

	収益性指数	順位	判　　断
A			採用すべきで（ ある ・ ない ）
B			採用すべきで（ ある ・ ない ）
C			採用すべきで（ ある ・ ない ）

問３

	内部利益率	順位	判　　断
A	%		採用すべきで（ ある ・ ない ）
B	%		採用すべきで（ ある ・ ない ）
C	%		採用すべきで（ ある ・ ない ）

問題 9

（注）｛　　｝内の不要な文字を二重線で消しなさい。

問１

正味現在価値 ［　　］ 円　投資すべきで ｛ある／ない｝。

問２

内部利益率 ［　　］ %　投資すべきで ｛ある／ない｝。

問題 10

(1)　年利率10%、期間が５年間の年金現価係数は（　　）である。

(2)　所要年間人件費の節約額は（　　）万円以上である。

問題 11

問１

	回 収 期 間
A	年
B	年
C	年

問２

	投下資本利益率
A	%
B	%
C	%

問題 12

(1)　投資案Ｂの正味現在価値　［　　］万円

(2)　投資案Ｂの内部利益率　［　　］%

したがって、この案は ｛採用すべきである。／採用すべきでない。｝（不要な文字を消しなさい）

問題 13

問１

当社の投資資金の税引後加重平均資本コスト率（　　）％

問２

各年度末の建物と設備の減価償却費の合計額（単位：万円）

20×1年度	20×2年度	20×3年度	20×4年度
（　　）	（　　）	（　　）	（　　）

問３

20×2年度末に発生すると予想されるキャッシュ・フローの合計額

（　　）万円

問４

投資終了時の正味回収額　（　　）万円

問５

この投資の正味現在価値　（　　）万円

したがって、この投資は｛有利な投資／不利な投資｝である。（不要な文字を消しなさい）

問６

この投資の内部利益率（％未満第２位を四捨五入して第１位まで表示）

（　　）％

問題 14

問１

利率12%、４年間にわたる年金の年金現価係数 [　　]

問２

法人税の影響を考慮せず、旧機械を売却処分し、新機械を購入する場合の正味現在価値 [　　] 万円

問３

法人税の影響を考慮しつつ、旧機械を売却処分し、新機械を購入する場合の正味現在価値 [　　] 万円

問４

法人税の影響を考慮しつつ、旧機械の売却を考えずに、旧機械をそのまま使用する場合の正味現在価値 [　　] 万円

問５

問３で計算した新機械の正味現在価値 － 問４で計算した旧機械の正味現在価値 ＝ [　　] 万円

したがって、新機械に取り替えるほうが {有利である。／不利である。}（不要な文字を消しなさい）

問６

① [　　] 法

② [　　] 万円

③ [　　]

問題 15

問１　各代替案の税引前キャッシュ・フロー

（単位：万円）

	第０年度末	第１年度末	第２年度末	第３年度末	第４年度末
甲案					
乙案					

（注）キャッシュ・フローがマイナス（現金支出）の場合は、数字をカッコでくくりなさい。

問２　各代替案の税引後キャッシュ・フロー

（単位：万円）

	第０年度末	第１年度末	第２年度末	第３年度末	第４年度末
甲案					
乙案					

（注）キャッシュ・フローがマイナス（現金支出）の場合は、数字をカッコでくくりなさい。

問３

（単位：万円）

	甲　　案	乙　　案	差額（甲案－乙案）
正味現在価値			

（注）正味現在価値がマイナスの場合は、数字をカッコでくくりなさい。

したがって、新設備を導入するほうが（有利・不利）である。
（二重線を引いて不要の文字を消しなさい）

問題 16

問１

リース料の適用利子率　［　　］％

問２

リースの場合の正味現在価値　［　　］万円

借入・購入の場合の正味現在価値　［　　］万円

よって｛リース／借入・購入｝のほうが有利である。（不要な文字を消去すること）

問題 17

問１

当社の投資資金の税引後加重平均資本コスト率（　　）％

問２

正味現在価値：Ａ機械　（　　）万円

　　Ｂ機械　（　　）万円

したがって、｛Ａ機械、Ｂ機械｝を導入すべきである。

（注）｛　｝内の不要な文字を二重線で消去すること。

問３

Ｂ機械のほうが有利となる年間稼働現金支出費用は（　　）万円以下である。

問題 18

①

②

③　　万円

④

⑤

⑥　　万円

問題 19

問１　各製品の年間計画生産・販売量……製品A　　台

製品B　　台

製品C　　台

問２　(1)　製造間接費、販売費及び一般管理費予算総額……　　円

(2)　各製品の単位あたり総原価……製品A　　円

製品B　　円

製品C　　円

(3)　製品別の年間営業利益総額……製品A　　円

製品B　　円

製品C　　円

(注)　損失が生じる場合は金額の前に△を付すこと。

問３　(1)　各製品の単位あたり総原価……製品A　　円

製品B　　円

製品C　　円

(2)　製品別の年間営業利益総額……製品A　　円

製品B　　円

製品C　　円

(注)　損失が生じる場合は金額の前に△を付すこと。

問４　①　　円

②　(　過大・過小　)

③　　円

④　(　過大・過小　)

⑤　　円

⑥　(　過大・過小　)

問題 20

問１

顧客別の営業費　　Ｘ社　　円

Ｙ社　　円

問２

Ｙ社に対する営業利益　　円

問題 21

問１

製造間接費予定配賦額　　円

問２

販売費予定配賦額　　円